

2008年8月・9月セミナー&イベントのお知らせ

すべて、予約が必要です。「那須で100年コミュニティをつくる会」那須池田事務所
電話：0287-76-7433 FAX：0287-76-7434 メール：nas100@conet.or.jp

9月

那須

「おひとりさまの老後」を支えるしくみづくり

講師：上野千鶴子さん（東京大学大学院教授） 浅川澄一さん（日本経済新聞社編集委員）

司会：近山恵子（社団法人コミュニティネットワーク協会理事長）

男女や未婚既婚、子どものあるなしに関係なく、「みんな最後はひとり」。そのとき、あなたはどこで、誰と、どのように暮らしているのでしょうか。「おひとりさま」の時代の暮らし方や介護のあり方を考えます。

- 日時：9月27日（土）13時30分開場 14時開演
- 会場：那須塩原市・黒磯文化会館大ホール
- 参加費：無料



◎講師プロフィール

上野千鶴子さん

東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。『上野千鶴子が文学を社会学する』『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』『老いる準備』など著書多数。近年は高齢者の介護問題に関わっている。



浅川澄一さん

日本経済新聞社編集委員。東京本社流通経済部で流通企業、サービス産業、ファッションビジネスなどを担当。1987年に月刊誌「日経トレンド」を創刊し初代編集長。その後、流通経済部部長、マルチメディア局編成部長などを経て、現在にいたる。著書に、「高専賃+小規模多機能型介護登場！ ケア付き住宅の本命」など。（社）コミュニティネットワーク協会・高齢者住宅事業評価改善提案委員会委員を務める。

8・9月

那須

箱膳体験イベントin那須

もったいない。使いまわし。全部食べきる。
「箱膳」を体験しに来ませんか？



- 日時：8月29日（金）11時30分～13時30分
9月28日（日）11時～14時
- 会場：「那須で100年コミュニティをつくる会」
那須池田事務所
- 参加費：3000円（交通費別途）
- 定員：20名
- *「那須塩原」駅より送迎いたします。

編集後記

お盆過ぎの那須は、蝉の声も静まり、空もほんの少し高くなり、早くも秋の気配です。見学会やイベントで、ぜひ季節を感じにいらしてください。那須通信は今号から、横組みになり、文字も大きく、見やすいつくりになりました。次号は、9月15日発行予定です。

お知らせ

現地見学会を開催しています。

9/9（火）、9/20（土）、10/10（金）、10/18（土）

10:10 新白河駅集合→生活便利施設見学→プロジェクト現地見学→那須の野菜を使った昼食@事務所→昼食で食べた野菜の畑を見学→那須町見学（温泉・道の駅…）→16:30 那須塩原駅解散

（スケジュールは変更になる可能性があります）

定員：10名

費用：無料（昼食材料費 700円）

*但し、交通費は自己負担となります。

*池田事務所にて共生の住まい方を体験できます。体験利用されたい方はご相談ください。

なす那須通信

発行：「那須で100年コミュニティをつくる会」（社団法人コミュニティネットワーク協会）

〒345-0302 栃木県那須郡那須町大字高久丙1777-434サンロード池田 電話：0287-76-7433 FAX：0287-76-7434

vol. 3

お盆を過ぎました。
那須もそろそろ秋支度です。



夕立の中に、稲の花。
「那須100年コミュニティ」現地近くの田んぼにて。（網子地区）

住まい手との協働でつくる 「ゆいま～る那須」でありたい…

8月4日、「那須100年コミュニティ設計コンペティション」応募作品がみ切りを迎え、全国から続々と作品が到着しました。応募総数 277 件中 84 作品。コミュニティを育む「場」として、生活者の視点で捉えた時の空間はどうあるべきか？ という課題に対して様々な提案をいただきました。全国からたくさんの応募をいただき、本当にありがとうございました。

今回、設計コンペの対象となったのは、コア施設「ゆいま～る那須」（高齢者専用賃貸住宅）です。「那須

100年コミュニティ」では、ひとつぜひ実現したいことがあります。それは、「家賃一括前払い1000万円と年金で暮らせること」。貯金と年金で賄うには、現状の高齢者住宅はまだ高すぎるからです。

「那須で100年コミュニティをつくる会」では、これから入居を希望される方を交えて、建築コストを下げするために生活のどこにお金をかけ、どこを節約するか、話し合いながら、決めていきたいと思っています。

食

作り手と受け手の垣根のない食事を

月の食費3万円の挑戦を始めています。目指すのは、農家さんからの突然のおすそ分けも、入居者からの突然のリクエストも、「なんでもあり」の、気さくであたたかいふつうの食卓。地産地消、もったいない、まるごとぜんぶつかいきる、をやりたいと思っています。「ゆいま〜る那須」では、提供する側とされる側に分かれな、食事のかたちを実現したいと思い、今、仕入れの方法や献立の立て方を含めて、試行錯誤を始めています。みなさんのアイデアをぜひお寄せください。



職

野菜づくりの学校・恩塚農園

「きゅうり獲れたよ〜」と、いつもひょっこり那須池田事務所に顔を出してくださる、地元の恩塚さん。100種類近い野菜やハーブ類を無農薬で育て、いくつものレストランに直接野菜を卸していらっしゃいます。そんな恩塚さんのことを7/27のセミナーで聞いた方から、「ぜひ研修をさせてほしい」とうれしいお申し入れがありました。日ごろから、「やる気のある人に教えたい」とおっしゃっていた恩塚さん、「いつでもどうぞ」とあたたかいお返事をくださいました。恩塚さんの畑は「那須100年コミュニティ」に集うさまざまな人たちにとってのひとつの学校になりそうです。



職

森林酪農・いよいよ来月牧柵設置へ

早くも那須は初秋の雰囲気。10月（予定）にはいよいよ、岩手での"研修"を終えたジャージーの子牛たちが牧場にやってきます。そのための下準備として、広大な3万坪の土地をぐるっと囲む牧柵を9月下旬に1週間かけて設置することになりました。この大仕事に、今回はなんと、帯広畜産大学の学生さんが、はるばる北海道から参加してくださることになりました！「那須100年コミュニティ」の一部となる森林酪農エリア。最初の"入居者"を迎える準備が多くの方の手を借りて、いよいよ始まります。



医

温泉診療所・見川医院と協力へ

「ゆいま〜る那須」の医療・介護のあり方を考える上で、連携してくれる地元のお医者さんの存在は重要です。そんな折、地元で素晴らしい出会いがありました。那須湯本の温泉診療所・見川医院の見川泰岳先生です。往診を大切にしているという先生会いたさに、持病の腰痛の診察に訪れたスタッフを、先生は温かく迎えてお話を聞いてくださいました。そして、「那須100年コミュニティ」への協力、具体的には定期的な往診を約束くださいました。見川先生のおやさしい雰囲気、あたたかい言葉に、大きな安心をいただきました。改めて、那須通信にてご紹介したいと思います。



セミナーアンケートより

セミナー「1000万円と年金で豊かに暮らせる住まい選び」(7/27)を開催しました！

講師：近山恵子(社団法人コミュニティネットワーク協会理事長)

当日は、定員を大きく上回る80名の方に来場いただきました。ありがとうございました！

セミナーアンケートより

- ・偶然にも私が常に夢に描いていた問題が語られ、大変力強く感じ、興味を持ちました。人情のある未来像に、心が豊かに和ませて頂いたような気持ち・・・、今後も大切にしたいです。(70代女性)
- ・地域でどう暮らしていけるかを考えています。自分でできること、相談をできる場、利用できる機関など、

とても参考になりました。でも、自分には力不足がもശれないと感じました。(50代女性)

- ・自分の今後の生活設計をしっかりと再確認すること、生産者として仕事をする事等、やらなければならないことややりたいことに対する考えが同じだったので、共感できた。(50代女性)
- ・共同で生活する地域コミュニティは老後では大切だと思いました。(年代不明・女性)

